

災害時の外国人支援 ～共助の担い手としての外国人住民～



株式会社 朝日工業
代表取締役 田蓑 真司

目次

1. 会社概要
2. 尼崎市の外国人住民について
3. チュックさんが消防団に入団したきっかけ
4. 尼崎市消防団での活動記録
5. 外国人材定着への取り組み
6. 最後に……

1. 会社概要

会社名	株式会社朝日工業
本社所在地	兵庫県尼崎市御園2丁目2番36号
代表者	田蓑 真司
創立	2008年10月
資本金	300万円
従業員数	17名
事業内容	加工（旋盤・タッピング・バニシング）・検査・梱包

1-1. 従業員の構成

社員	9名
パート	6名
特定技能1号	1名
技能実習1号	3名

弊社では、外国人も活躍している会社です。一緒にハザードマップを確認したり、外国人であっても日本人同等の防災知識を一緒に学んでいます。

チュックさん以外にも、3人の従業員が尼崎市消防団で活躍しています。

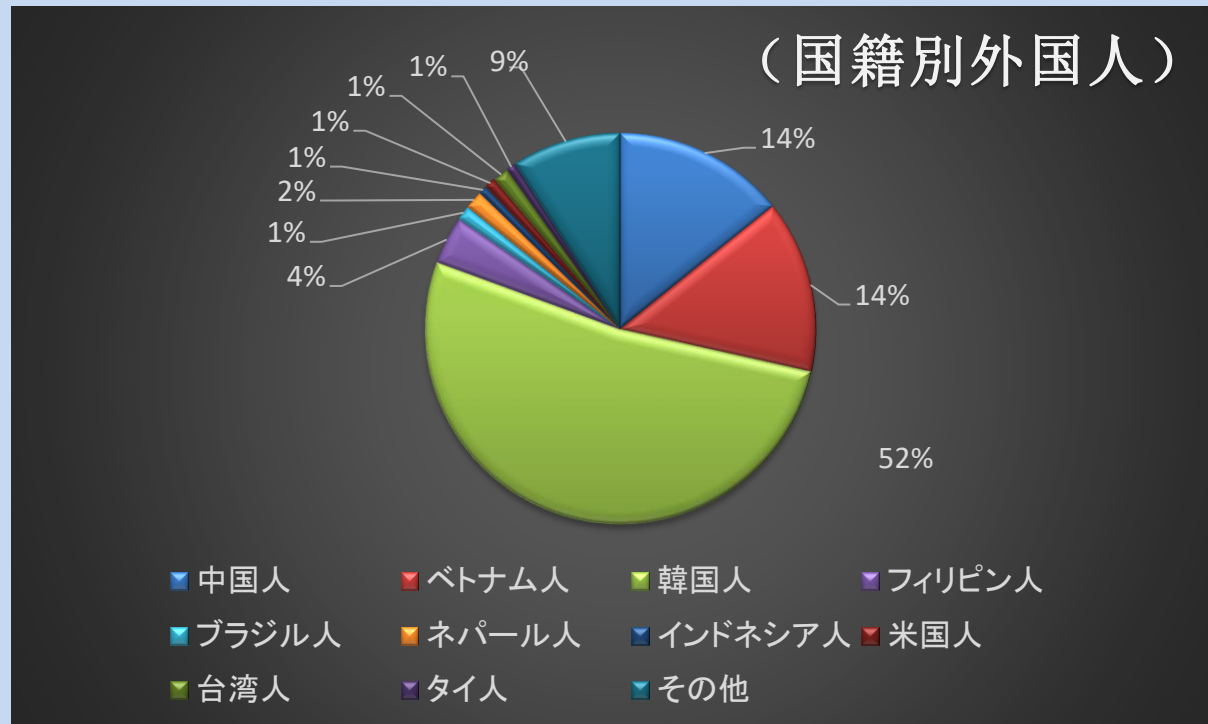
2. 尼崎市の在留外国人

住民基本台帳(令和3年12月末現在)

尼崎市の外国籍住民は、

総数11819人

中国1681人、ベトナム1687人、韓国6157人、フィリピン469人、ブラジル142人、ネパール178人、インドネシア84人、米国107人、台湾154人、タイ92人、その他1068人



ベトナム人は全体の14%が尼崎市に住んでいる。その中で、ベトナム人の彼女がリーダー的存在になり、防災教育や訓練を普及させていく必要性が高いと考えていました。そこで……

3. チュックさんが消防団に入団したきっかけ

- 特定技能外国人の資格習得後に・・・

「技能実習生」として、日本に来て5年が経過しようとした時に、彼女から「特定技能外国人の資格」を取得したいと強く要望を受けました。

私自身も「尼崎市消防団」に入団している事もあり、彼女が実習生の時から地域の防災訓練や大会の応援などに駆けつけてくれていました。

そんな中、昨今日本全国で起こっている異常気象による大規模災害が発生し、外国人が亡くなってしまった事がありました。

コロナ禍前までは、彼女とよく飲みに行っては色々な話をする機会があり、彼女の国では日本に比べて「防災教育」が進んでいない事を教えて頂きました。

私自身も子供の頃から当たり前のように「防災教育」を受けていたので、彼女の言葉には非常にびっくりしました。

遠い日本へ夢を抱き、やっと来日しても災害で命を落とす事はあってはならないと、私自身が強く思い彼女に「尼崎市消防団」へ入団し、もっと外国人に「防災教育」を学んで欲しいと相談しました。

彼女自身も、気持ちは一緒でしたので直ぐに尼崎市消防局に問い合わせをし、大阪入管で「資格外活動」も認めて頂き入団を認めてもらいました。大阪入管では、これからの日本人社会には防災意識を持った外国人達が必要との旨をお伝えしました。

4. 尼崎市消防団での活動記録

- 尼崎市消防団企画広報分団への入団

彼女の消防団活動は、主に広報などを担当しています。

地域の防災訓練時には、啓発活動や一般の参加者、ベトナム人達にAEDの使い方などを教えています。

その他にも、「防災研修」などの教育訓練にも積極的に参加しています。

4-1. 余談ですが・・・

- 去年の活動記録(尼崎市消防団)

消防団HP:

<http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/syobo/syobodan/index.html>

消防団広報動画:<https://youtu.be/2ROaBaq4cP4>

チュックさんが、去年1月9日(日)に行われた『尼崎市消防出初式』にてお披露目される『女性消防ポンプ操法』に選手として選ばれました。日本人の中で唯一の外国人女性ですが、週に2回から3回、仕事終わりに練習を行っていました。練習が始まった当初は、初めて聞く日本語や、操法について戸惑っていたりしていましたが、皆が関心するほど操法の技術が上達し、女性選手達の中でもムードメーカーになっています。職場以外でも活躍している姿は大変素晴らしいと実感しています。これからも彼女の活躍を応援しているところです。(<https://youtu.be/Iuv7LtfIZ4A>)

7. さいごに

- 今後の災害時の外国人支援について

私自身も尼崎市消防団に所属しており、地域の防災訓練を企画したりしていますが、なかなか外国人の人達が参加して頂けないのが現状です。これから起こると言われている大規模災害時には、日本で暮らしている外国人の人達も一緒に逃げて、自分達で助け合い生きていかななくてはなりません。私たち日本人は当たり前で学んできた「防災教育」ですが、もっと積極的に外国人にも受け入れてもらう活動を心掛けていく必要があると感じております。日本に住んでいる外国人の人達にもハザードマップを理解して頂き、大規模災害には何処に逃げたら命の安全を確保できるのかなど、色々な方向から発信していきたいと頑張っています。彼女は尼崎市消防団で日本人しかいない中、専門用語もまだまだ理解できていないのにも関わらず、一人で講習に出向いたり日本人よりも頑張っていると感じます。これからの日本人社会において、外国人の防災意識は非常に重要な課題になると感じています。

- 日本在住の外国人の皆様へのメッセージ

日本は災害大国です。これから起こると言われている大規模災害に、日本に住んでる全ての人達が備えなければなりません。日本人も外国人も一緒に避難行動や非難活動を行わなければなりません。日本語に慣れてない外国人の人達も、避難場所には通訳できる人達も駐在しているので、安心して下さい。日本全国で「防災訓練」は行っていますので、是非とも参加して頂き「自分の命は自分で守る意識」を高めて頂きたいと強く思っております。

自分の命を守る知識があって、初めて共助の行動ができます。これからの日本社会には外国人の助けも大いに必要となります。一人でも多くの外国人が災害時に活躍して頂けるように、日本人と同等の防災知識を学んで、それぞれの国に帰ってからも自国で啓発活動などを取り入れて頂いたら嬉しい事です。遠い日本に来て、絶対に命を落とす事のないようにして下さい！

ご清聴ありがとうございました